

# ターナー水彩画展

1991 6・28金 ▶ 7・21日



ターナー 「城と牛・夕暮」1843年

開館 午前9時～午後5時（入室は午後4時30分まで） 毎週金曜日は午後7時まで（入室は午後6時30分まで）  
 但し初日は午前10時オープン  
 休館日は毎週月曜日  
 入場料 一般 700円 高大生 400円 小中生 200円（前売り及び団体20名様以上2割引）  
 主催 高松市美術館・瀬戸内海放送

高松市美術館

高松市紺屋町10-4 Phone. 0878-23-1711

## ターナー水彩画展

ジョーゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー (1775-1851) は19世紀前半にイギリスで活躍した画家です。風景画を主とした作品群を残し、その大部分はテイト・ギャラリー (ロンドン) に収蔵されています。

イギリスの19世紀は風景画というジャンルが隆盛した世紀でもありました。それまで、物語絵や肖像画の一部として考えられることが多かった風景が、自然の再現を重視する独自のジャンルとして大きく発展しました。そして当時のロマン主義的傾向と相まってこの素晴らしい芸術家が生まれました。

ターナーはヨーロッパ各地を旅し、見たままの風景を素早く水彩画で描いています。版画になって普及することが多かったこれらの名所絵的な作品に、ターナーの1つの側面を見ることができます。小さな水彩画の淡く素早いタッチは、油彩画にみられるような揺らめき燃え立つような美しさにつながり、やがてフランスの印象派の画家たちにも大きなショックを与えるのです。

今回の展覧会ではテイト・ギャラリー等に収蔵されず《知られざるターナー》と言われていた元ジョン・アンダーソン・コレクションから水彩画約200点をご紹介します。美しいヨーロッパの古城や田園風景をどうぞお楽しみください。

### ●講演会「ターナーの芸術について」

講師／八重樫春樹氏

(元国立西洋美術館 学芸課長)

7月7日(日)午後1時30分より

高松市美術館1階講堂にて

入場料 無料 定員 先着200名様

### ●次回の催し物ご案内

「マン・レイと友人たち」展

8月10日(土)～9月8日(日)

「アンディ・ウォーホルの映画」

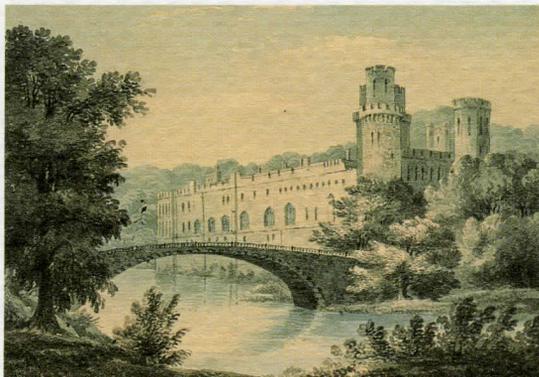
9月13日(金)～9月16日(月)



ターナー 「ローマの教会」



ターナー 「カウイスブラスク城」1843年



ターナー 「ウォーリック城」1824年



ターナー 「ペンブロック城」